

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401
 住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12
 氏 名 株式会社マルエツ 印
 代表取締役社長 上田 真
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

| | | | |
|---------------------|--|-------|-------------------|
| 事業者の氏名 又は名称 | 株式会社 マルエツ | | |
| 主たる事務所 又は事業所の所在地 | 神奈川県川崎市幸区新塚越201ルリエ新川崎 | | |
| 該当する事業者 の要件 | <input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者) | | |
| 主たる事業 の業種 | 大分類 | I | 卸売業, 小売業 |
| | 中分類 | 56 | 各種商品小売業 |
| 主たる事業 の内容 | 食品スーパーマーケット | | |
| 事業者の規模 | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量 | | 5,388 k l |
| | <input type="checkbox"/> 自動車の台数 | | 台 |
| | <input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量 | | t-CO ₂ |
| 連絡先 | 担当部署 | 担当部署名 | 総務本部 顧客サービス環境推進部 |
| | | 所在地 | 東京都豊島区東池袋5-51-12 |
| | 電話番号 | | 03-3590-1210 |
| | FAX番号 | | 03-3590-2683 |
| | メールアドレス | | 0 |
| ※受付欄 | | ※特記事項 | ※事業者番号 |

(第2面)

| | |
|------------------------------------|---|
| 計画期間及び報告年度 | 平成22年度 ～平成24年度 (報告年度 平成24年度分) |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 備考 | 当社の地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにて公表しています。 http://www.maruetu.co.jp/corporate/environment/index.html |

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

| | 基準年度 | 第1年度 | 第2年度 | 第3年度 | 目標排出量 |
|-----|--|---|--|--|-------------------------------------|
| 排出量 | (実) 10,692 (調) 10,183 t-CO ₂ | (実) 10,173 (調) 9,738 t-CO ₂ | (実) 8,761 (調) 8,389 t-CO ₂ | (実) 9,233 (調) 8,842 t-CO ₂ | (実) 10,149 (調) t-CO ₂ |
| 削減率 | | (実) 4.9 (調) 4.4 % | (実) 18.1 (調) 17.6 % | (実) 13.6 (調) 13.2 % | (実) 5.1 (調) % |

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

| 原単位の 活動量 | 延床面積×営業時間 | | 単位 | t-CO ₂ /1000m ² h | |
|---------------|-----------|---------|---------|---|---------|
| | 基準年度 | 第1年度 | 第2年度 | 第3年度 | 目標年度の値 |
| 排出量 原単位等の値 | 0.04733 | 0.04612 | 0.03918 | 0.04065 | 0.04557 |
| 削減率 | | 2.6 % | 17.2 % | 14.1 % | 3.7 % |

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

| | |
|------|---|
| 第1年度 | 川崎西口店が平成22年1月に閉店となり排出量が減少したことともに、推進体制による啓蒙、省エネ機器の導入、店内空調の実温管理、不要照明の消灯などを省エネ活動をすすめ、温室効果ガスの削減を達成いたしました。 |
| 第2年度 | 電力抑制施策として、基本照明を間引きをし1/3点灯。ネオンサイン・スポット照明など演出的な照明は全消灯。広告塔は原則消灯とし、20時以降の点灯。空調機は28℃の実温管理などの節電対策を実施し、温室効果ガスの大幅削減をいたしました。 |
| 第3年度 | 京町店を平成24年2月29日に一時閉鎖、建替えを実施し、同年7月24日にオープンをいたしましたので、京町店分の排出量が減少しました。一方電気使用量は、お客さまから「商品等が見つらい」とのお申し出をいただいたため、平成23年度の電力抑制施策の中で、一部復電をしたため、前年より増加しました。最終的な目標排出量および原単位は、節電施策により目標値を大幅に下回ることができました。 |

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

| |
|---|
| <p>平成24年度に1店舗当り排出するCO₂を平成19年度比15%削減(698t-CO₂を594t-CO₂に削減)という目標に対し、平成21年度は622 tで11%、平成22年度は599t-CO₂で14%削減をしました。平成23年度には517t-CO₂(推定)となり、目標達成する見込みとなり、目標を変更しました。目標値は、平成27年度に平成19年度比25%削減(522t-CO₂)といたしました。平成24年度は、1店舗あたりのCO₂は、524 t-CO₂となり、最終目標に大きく近づきました。</p> |
|---|

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

| | | |
|---------------------------|------|---|
| 事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等) | 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の継続と啓蒙 ○エネルギー管理基準の見直し ○受変電設備の稼働状況の確認 ○省エネ型照明の導入 ○断熱性の向上 |
| | 第1年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○全16店舗で推進体制の継続と壁新聞方式の教育ツールを使用した啓蒙 ○売場及び冷ケースの照明のカット ○店舗後方のカーテン取付(1店舗) |
| | 第2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○全16店舗で推進体制の継続と壁新聞方式の教育ツールを使用した啓蒙 ○売場及び後方の基本照明1/3点灯 ○冷凍食品、アイスクリームなどの冷凍ケースのナイトカバー設置 ○サッシ面に「遮熱フィルム」「遮熱塗料」の貼付 |
| | 第3年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○全16店舗において、ISO14001に基づく推進体制とDVDなどのツールによる啓蒙の実施 ○エネルギー管理基準の見直し ○Hf型照明の設置 ○サッシ面に「遮熱フィルム」「遮熱塗料」の貼付による断熱性の向上 ※受変電設備については見直しの結果、オーナー管理のため対象外とします。 |
| 自動車等 (第3号該当者等) | 計 画 | |
| | 第1年度 | |
| | 第2年度 | |
| | 第3年度 | |

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

| | |
|------|----|
| 計 画 | なし |
| 第1年度 | なし |
| 第2年度 | なし |
| 第3年度 | なし |

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

| | |
|------|---|
| 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> ○水自動販売機での水の売上金の一部を社団法人国土緑化推進機構に寄付。 ○牛乳パックリサイクル商品やナフサ利用の商品開発 ○詰替え商品の拡販と食品トレイの軽薄化 ○各店頭でのペットボトル、食品トレイ、牛乳パックの回収とリサイクル ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動 |
| 第1年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○水自動販売機での水の売上金の一部51万円を社団法人国土緑化推進機構に寄付。 ○詰替え商品の拡販。 ○ペットボトル(387t)、食品トレイ(205t)、紙パック(590t)の店頭回収。 ○埼玉県日高市において、従業員157名による植林などの森林維持活動の実施 |
| 第2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○水自動販売機での水の売上金の一部52万円を社団法人国土緑化推進機構に寄付。 ○詰替え商品の拡販。 ○ペットボトル(407t)、食品トレイ(195t)、紙パック(570t)の店頭回収。 ○埼玉県日高市において、従業員36名による植林などの森林維持活動の実施 |
| 第3年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○水自動販売機での水の売上金の一部33万円を社団法人国土緑化推進機構に寄付。 ○詰替え商品の拡販。 ○ペットボトル(413t)、食品トレイ(198t)、紙パック(568t)の店頭回収。 ○埼玉県日高市において、従業員39名による植林などの森林維持活動の実施 |

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

| | | |
|-----|-------|-------------------|
| (実) | 9,005 | t-CO ₂ |
| (調) | 8,988 | |

イ 第3号該当者等

| | | |
|-----|--|-------------------|
| (実) | | t-CO ₂ |
| (調) | | |

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|----------------|-------------------|-----------------|-------------------------|
| 中原店 | 中原区下小田中1-28-1 | 5811 | 食品スーパー | 980 t-CO ₂ |
| 鹿島田店 | 幸区新塚越201ルリエ新川崎 | 5811 | 食品スーパー | 1,088 t-CO ₂ |
| 柿生店 | 麻生区上麻生5-41-1 | 5811 | 食品スーパー | 945 t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

| エネルギー使用量の規模 | 事業所数 |
|--------------|------|
| 400～500kl 未満 | 4 |
| 300～400kl 未満 | 1 |
| 200～300kl 未満 | 4 |
| 100～200kl 未満 | 2 |
| 100kl 未満 | 1 |

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

| | |
|------|--|
| 事業所数 | |
|------|--|